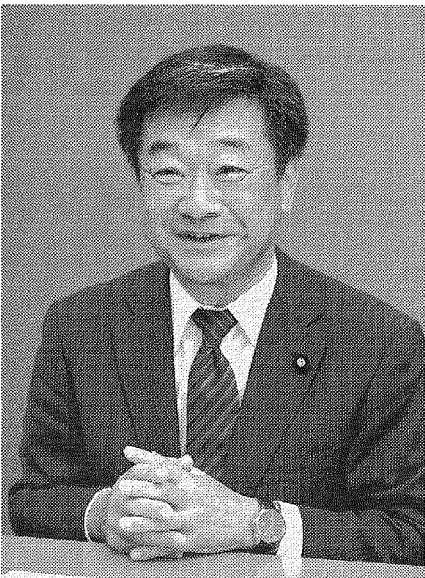




# 新参院議員 私の抱負

## 強靱な国土へ「想いを形に」

### 足立 敏之 参院議員



—参院選を戦った印象。  
足立敏之参院議員 この1年間  
で全国20万㎡以上を移動する中、  
改めて日本は大都市圏や中山間地  
域をはじめ半島や離島など多様な  
国土に恵まれ、それぞれ育まれた  
風土や文化など魅力にあふれた国  
であると実感しました。

一方で、  
道路や港  
湾、鉄道な  
ど日本を支  
えてきた基  
幹インフラ  
の劣化が目  
立ち、経済  
再生に向け  
かつては一  
流と言われ  
たインフラ

の再構築に取り組み覚悟です。  
—政治家を志した動機、目指  
す理想。

足立 「建設省・国土交通省で  
得た知識、経験、技術力を活かす  
たい」との思いで、大先輩の前議  
員からバトンを引き継ぎ、この道  
を歩む決断を致しました。

目標とする政治家を一人挙げる  
と、母方の遠縁にあたり肅軍演説  
で有名な「斎藤隆夫先生」です。  
先生は、私の母が生まれ育った

兵庫県北部の和田山町に隣接する  
豊岡市石出町出身。  
戦後の第一次吉田茂内閣の国務  
大臣を務めた方で、その「ぶれな

い政治姿勢」に敬服し、深く尊敬  
しています。

—課題・政策で取り組みたい  
テーマ。

足立 全国的に劣化が進む道路  
や河川、港湾、鉄道など基幹イン  
フラの再生が最優先課題、それに  
必要な公共事業予算の確保が私の  
使命です。

民主党政権により、ピーク時と  
比較し47%まで落ち込んだ公共事  
業予算を取り戻すため、補正予算  
を組み合わせるなど、工夫して取  
り組みたいと思います。

今回の岩手県や北海道の激甚災  
害を見ても、信頼性の高い道路ネ  
ットワークの整備や水害・土砂災  
害に強い強靱な国土づくりが急務  
です。

## 防災の担い手「建設産業」の再生

また、これから地球温暖化の進  
行に伴う気候の激化に対応するた  
め、防災・減災への備えも不可欠  
です。何としてもそうした想いを  
形にしていきたい、そう思ってい  
ます。

重要なのは、防災の担い手で、  
インフラ整備も担っている建設産  
業の再生です。

自衛隊や警察・消防などと同様  
に、災害からの復旧・復興に大き  
な役割を果たす建設産業が、持続  
的に活躍できる環境作りが大切で  
す。

仕事をしてもらえずならず、必  
ず適正な利益が上がる社会構造と  
なるように改正品確法の運用指針  
の徹底など、これまでの経験を活  
かし全力で頑張ります。